

鳥取県鍼灸マッサージ師会 通信

発行 公益社団法人
鳥取県鍼灸マッサージ師会
代表者 山根 和由
事務所 〒680-0031
鳥取市本町3丁目201番地
鳥取産業会館・鳥取商工会議所ビル
tel 0857-22-7598 fax 0857-30-0115
HP <http://torishinma.sakura.ne.jp/>

令和元年度 第1号

「はり・きゅう・マッサージの日」の イベントを開催

鳥取県鍼灸マッサージ師会

猛暑となった8月18日の日曜日に、米子市の保険福祉総合センターふれあいの里において、「はり・きゅう・マッサージの日」の記念イベントとして無料講演会、相談会、鍼（はり）、マッサージの無料体験会を開催した。

講演会では、昨年好評であった本会会員の三田直水さんによる「寝たまま体操～自分でできる寝たきり改善メソッド～」を行い、たとえ病気・けが等で寝たきりになっても、或いは体力・健康維持のために動かせるところを動かすとの目的で、20数種類の簡単な運動を実際に会場した皆様に行っていた。

終了後には、「講座がまた開かれるようなことがあれば参加したい」、「寝た状態で体操できるのでとても助かります」、「自分のベッドの上でやってみようと思う」等の声も聞こえていた。

講演会終了後は、無料体験会、相談会を行った。鍼（はり）やマッサージの体験会では30数名の方に、相談会では数名の方にご自身の病気に対する鍼灸マッサージでの治療方法、及び健康管理での鍼灸マッサージの活用方法についての相談・質問に対して説明・助言を行った。

鍼（はり）やマッサージを受けるのが全く初めての方もおられたが、会員の丁寧な説明と施術を受け、「はじめてのはり体験とても良かったです!」、「マッサージ後、体が軽く歩け、楽になりました」のほか、「免許の件もギモンに思うところでしたのでスッキリしました。やはり、免許を持っておられる所で!ですよね」などの声をいただき、好評のうちに終了した。

ご来場いただいた方々には、心からお礼を申し上げます。今後も本会は県民の皆様の健康増進に安心、安全をもって寄与していきたいと考えております。今後もこのような企画を見かけられましたら、ぜひともお出かけ頂きますようお願い申し上げます。



令和元年度・定時社員総会開催。

夏を思わせるような陽気となった6月2日（日曜日）、米子市公会堂の集会室を会場に令和元年度定時社員総会を開催しました。

開会の式典では、山根和由代表理事の挨拶に続いて、東洋療法研修試験財団の生涯研修終了証の伝達式と、継続取得の表彰状の贈呈が行われた後、ご来賓のご挨拶を頂戴し、祝電の披露もされました。

議事では、議長に東部地区の笠田浩司氏を選出して次の議題が審議されました。

1. 平成30年度会務・事業報告、同決算報告及び資金調達、設備投資の報告並びに監査報告の承認について。
2. 任期満了に伴う役員選挙について。
3. 令和元年度事業計画・同予算および資金調達、設備投資見込みに関する報告について。
4. 全鍼師会代議員総会等について。

山根代表理事より、5月26日に開催された代議員総会の報告が行われました。

5. 第6回中国地区鍼灸マッサージ師協議会提出議題について
6. 意見発表・その他

(1) 宮地氏より、西部の医師、薬剤師などが主宰する在宅ケアの研究会への参加の提案。

(2) 市川氏より中央におけるあはき師等の広告に関する検討会、及び受領委任制度に関する件について。

(3) 総務部より、7月1日から施行される治療院（室）での禁煙義務化についての情報、及びトリアスロンケア活動、敬老の日にちなんだ治療奉仕活動への参加について。続いて選挙管理委員より役員選挙結果の報告があり、立候補者全員が信任されたことが報告され、以上の上程された議案の承認事項は全て承認され総会は終了しました。

尚、総会終了後に開催された新役員による理事会において、各理事の担当する職務が決定し報告されました。その後、東京での代議員総会の翌日に開かれた全日本鍼灸マッサージ師連盟、及び共同組合総会に参加した山根代表理事より報告が行われ、全日程を終了しました。



ご来賓の方々です

衆議院議員 赤沢 亮正 様代理

参議院議員 舞立昇治 様代理

鳥取県福祉保健部健康医療局医療政策課課長 萬井 実 様

米子市福祉保健部障がい者支援課課長 仲田 明美 様

鳥取県医師会副会長 米川 正夫 様

祝電をいただきました

鳥取県知事 平井 伸治 様

衆議院議員 石破 茂 様

参議院議員 青木一彦 様

鳥取県議会議長 藤縄 喜和 様

鳥取盲学校校長 藤田 則恵 様



役員紹介 (敬称略)

代表理事	山根 和由
業務執行理事	森下 義明 (財務担当)
業務執行理事	山下 泰男 (総務・事務局担当)
業務執行理事	植竹 雅宏 (事業・広報担当)
業務執行理事	國岡昭太郎 (事務局補佐・組織担当)
理事	市川 正明 (IT担当)
理事	森下 義明 (東部地区長)
理事	植竹 雅宏 (中部地区長・広報担当)
理事	宅野 守 (西部地区長・治療奉仕担当)
監事	長谷川 誠 (員外)
監事	漆原 徹到 (員内)
顧問	渡辺 憲 (鳥取県医師会長)



会の動き

5月6日

第1回理事・役員会を開催

薫風香る5月12日の日曜日、鳥取市のさわやか会館を会場に、新たな元号の元、本年度第1回の理事会を開催しました。山根代表理事の挨拶後、定時社員総会の提出案件の他、7月の皆生トライアスロン大会での選手ケア活動と、8月の鍼灸マッサージの日のイベントに対応するための小委員会の設置が承認されるとともに、9月の治療奉仕活動についても共催の他団体などと協議していくことが承認されました。



6月29・30日

第6回 中国地区鍼灸マッサージ師協議会 in 広島 開催

梅雨空となった6月29日・30日の2日間にかけて、広島市中区のホテルの大会議室を会場に、広島県鍼灸マッサージ師会主催による第6回中国地区鍼灸マッサージ師協議会が開催されました。



1日目は、広島県鍼灸マッサージ師会・山田健三会長の挨拶に始まり、来賓の学校関係の先生方の挨拶を頂戴しました。

基調講演では、全日本鍼灸マッサージ師

会・伊藤久夫会長による「あはき業界の中央情勢について」をテーマに以下の内容で、ご講演いただきました。

1. 保険関係〔受領委任制度について〕
2. 法制関係〔広告ガイドライン等〕
3. 学術関係〔伝統医療の位置づけ等〕
4. スポーツ・災害対策関係〔医療関係団体と連携等〕（オリンピック・パラリンピックでは選手村に鍼灸ボランティアが入ったのは東京開催が初めてとの事です。）

続いて、各県より提出された組織強化、無資格対策及び保険の取扱いに関する課題について協議・質疑応答による意見交換が行われました。

会議終了後、懇親会が催されたが、その場においても情報交換が活発に行われていました。



2日目は、一般講演会として、1部講師に（元保護司）中本忠子氏による「子どもの居場所」 2部講師に四国医療専門学校非常勤講師・新開弘枝先生による「顔望診・ツボを使った美と健康のセルフケア」をテーマに講演が行われ、続いて有資格者対象の学術研修会が行われました。



7月14日

皆生トライアスロン大会の 選手のケア活動に参加



早朝の雨が上がり、例年になく涼しくなった曇り空の7月14日、第39回全日本トライアスロン皆生大会が開催され、その出場選手へのケア活動を実施しました。

今回は、鳥取県視覚障害者福祉協会三療部会、鳥取県ライトハウスのほか、鳥取県鍼灸師会からの参加協力もえて、総勢25名により、ゴール地点の陸上競技場に設置されたテントでは鍼（はり）によるケア、競技場近くの東山体育館ではマッサージによるケアが、合わせて83名の選手に対して行われました。

選手からは「今年もまた受けにきました」「直後にケアが受けられ助かります」「痛みが取れました」「これで安心して車の運転をして帰れます」などの声が聞こえていました。

大会関係者と受付等のボランティアをして頂いた方々には大変お世話になり厚く御礼申し上げます。



はりの様子



マッサージの様子

7月28日

島根県師会松江研修会で、本会会員・ 三田直水氏が講演

梅雨は明けたものの、蒸し暑く不安定な空模様であった7月28日（日曜日）、松江市のライトハウスライブラリーを会場に開催された、島根県師会松江研修会において、本会会員の太陽堂院長・三田直水（みた なおみ）先生が「触れることの意味」をテーマに講演をされました。

午前中は、鍼灸マッサージ師を目指した動機、自身の経験談等に続いて人の皮膚の構造から働き、東洋医学での皮膚の捉え方、鍼治療でのポイント等の話がありました。

午後は、先生が日常の臨床にて汎用している“散鍼”と“皮鍼”での鍼の持ち方、補瀉による刺法の違いを説明し、数人のモデル患者に対してその実際が披露されました。その後、参加の有資格者同士が試鍼を行う中で、実技指導も行われました。

質疑応答では、有資格者のほか、学生参加者からの熱心な質問もあり、大変有意義な研修会でした。



三田先生による講演の様子



全国国民年金基金への加入について(お知らせ)

本年1月の講習会及び本会の平成30年度通信第2号紙面にてご案内しましたが、これまでの鍼灸マッサージ師等国民年金基金は、令和元年4月より、全国国民年金基金へ統合されました。そして、それを期に(公社)全日本鍼灸マッサージ師会と全国国民年金基金本部との紹介契約の締結が行われました。

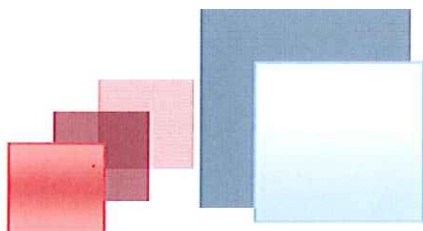
それに伴い、全鍼師会より都道府県各師会に対し、国民年金基金加入希望者紹介への協力依頼があり、また過日、全国国民年金基金鳥取支部より紹介にあたっての要領について説明がありました。

それによると、加入希望者の紹介は、書面にて本会より同基金鳥取支部へ行うこととなっています。

つきましては、国民年金基金への加入をお考えの方、この制度についての説明をお聞きになりたい方は、先ずは本会事務局までご連絡ください。

《国民年金基金に加入できる方》

日本国内に居住している 20 歳以上 60 歳未満の自営業者とその家族、自由業、学生などの国民年金の第 1 号被保険者および 60 歳以上 65 歳未満の方や海外に居住されている方で国民年金の任意加入されている方が加入できます。



鳥取・島根県師会交流会のお知らせ

日時 9月29日(日曜日)10時~12時

場所 松江テルサ

(松江駅北口より徒歩1分)

本会と島根県師会は、毎年交流会を交互に主催して開催しております。

問題点、事業、運営方法等を話し合い、お互いに参考にしながら問題点の改善・解決方法などを協議しています。

参加希望の方は、本会事務局へご連絡下さい。

島根県師会 生涯研修会のお知らせ

学術研修会

日時 10月6日(日曜日)10時~15時

場所 ビッグハート出雲

内容 腰部脊柱管狭窄症の間欠跛行に対する鍼灸の実際と効果機序

講師 粕谷大智先生

(東京大学医学部附属病院
リハビリテーション部)

大田研修会

日時 11月24日(日曜日)

場所 大田研修会

(大田市・あすてらす)

内容 未定

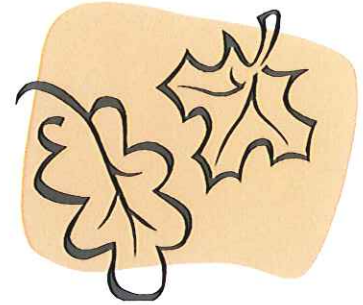
出雲研修会

日時 2月23日(日曜日)

場所 出雲市社会福祉センター

内容 未定

今後の予定・お知らせ



9月1日	第1回学術講習会（鳥取市）
9月21・22日	第13回JIMTEF ベースコース（東京）
9月15日	敬老の日にちなんだ治療奉仕活動（米子市・ふれあいの里）
10月13日	第2回学術講習会
10月20・21日	第18回東洋療法推進大会 in 神奈川（横浜市）
11月17日	全鍼師会都道府県師会長会議（東京）
11月23・24日	「認定訪問マッサージ師」「認定機能訓練指導員」〈基礎講義〉講習会
12月1日	第3回講習会（米子市公会堂）
令和2年	
1月26日	第4回講習会（倉吉）
2月1・2日	「認定訪問マッサージ師」「認定機能訓練指導員」〈実技講義〉講習会

～会員の先生方へ、ご協力をお願い～

来年の6月最終週、開催予定の中国地区鍼灸マッサージ師協議会は、鳥取県で開催される事となりました。

多くの皆様のご出席とともに、ご協力をよろしくお願いいたします。

7月1日より、「施術所」の敷地内は原則禁煙となりました。

健康増進法の一部改正により、望まない受動喫煙を防止するための取り組みとしてルール化されました。

【子どもや患者等に特に配慮】のため、第一種施設（あはき施術所も含まれます。）

「学校、児童福祉施設・病院、診療所・行政機関の庁舎」は禁煙となりました。

※ 個人の居住スペースを除く全敷地が対象になりました。

※ 施術所と住居が極めて近い、境界が曖昧な場合などは、たばこの煙が第一種施設内に流入しないような配慮が必要です。

※ 屋外や家庭等において喫煙をする際、望まない受動喫煙を生じさせることがないよう周囲の状況に配慮しなければならないものとする。

※ 屋外で受動喫煙を防止するために必要な措置がとられた場所に、喫煙場所を設置することが出来る。

※ 敷地内には駐車場も含まれます。

（参考）健康増進法一部改正に伴う第一種施設説明会資料

詳しくは、厚生労働省ホームページ

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000189195.html>

或いは、鳥取県福祉保健部健康医療局健康政策課がん・生活習慣病対策室

電話：0857-26-7769、ファクシミリ：0857-26-8143

鳥取県鍼灸マッサージ師会 学術講習会のお知らせ

第1回講習会（公開講座）

日時 令和元年9月1日（日曜日）10時30分～15時30分

場所 鳥取市障害者福祉センター さわやか会館・3階第1研修室

講師 元東洋鍼灸専門学校副校長

松田 博公（まつだ ひろきみ）先生

演題 「中国伝統医療の宇宙論・日本鍼灸の鏡として『黄帝内経』読む」

第2回講習会（公開講座）

日時 令和元年10月13日（日曜日）10時30分～15時30分

場所 県立生涯学習センター 県民ふれあい会館4階大研修室

講師 日本鍼灸マッサージ協同組合理事長

堀 昌弘（ほり まさひろ）先生

演題 「医療過誤と近代経営」

第3回講習会（公開講座）

日時 令和元年12月1日（日曜日）10時00分～15時00分

場所 米子市公会堂 2階第6・7集会室

講師 （一社）鳥根県鍼灸マッサージ師会・業務執行理事

治療室ウェルケア院長 岩谷 誠（いわたに まこと）先生

演題 「知ってもらおう・来てもらう・また来てもらうための治療院経営」

第4回講習会（公開講座）

日時 令和2年1月26日（日曜日）10時00分～15時00分

場所 倉吉市・伯耆しあわせの郷 小研修室

講師 本会会員 数名

演題 治療研究発表・報告および評価・検討

※受講料（資料代）第1回～3回・会員1,000円、非会員（有資格者）2,000円、一般・学生無料、第4回・会員500円、非会員（有資格者）2,000円。

昼食費は別。お申し込み：本会事務局へ、各回とも1週間前までをお願いいたします。

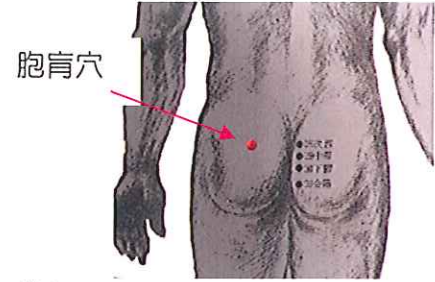
事業部からお願い

第4回講習会（令和2年1月26日）は、例年通り会員発表の場として開催いたします。発表していただける先生方のご応募を宜しく申し上げます。

申し込みは本会事務局までお願いいたします。



ツボ10メモ



胞育(ほうこう)穴 ^{けつ} [足の太陽膀胱経]

[効果] 婦人科疾患、腰痛、座骨神経痛、便秘など。

[位置] 第二仙椎の下の、左右の指四本分外側のところ。グリ

グリとした筋肉をとらえて押さえると堪えます。(左右の上後腸骨棘の下縁を結び、中心の第2仙骨稜の外方三寸。)

[解剖] 大殿筋(※1)、中殿筋があり、上殿神経、仙骨神経後枝が分布。

胞育の胞は子袋とも読むことができ、子宮を指します。婦人病では頭重や肩こり、腰のだるさ、下腹のはり、足の冷えなどを訴える人が多いですが、このツボは大切なツボといえるでしょう。昔から腰湯をして下半身を温め、血流を改善する方法がありました。実に理にかなった養生法の一つです。クーラーで冷えた体にも活用してみてください。

(婦人科疾患の中には骨盤内感染症、腫瘍の場合もありますので、病院での検査も必要です。)

※1) 大殿筋、中殿筋は立位、歩行時において骨盤の安定をはかります。

大殿筋は、直立歩行をするため人間ではよく発達をしていて、体幹を直立させ大腿を伸展し、また外旋筋としても働きます。(サルでは中殿筋が大殿筋の倍の容積を持つのに対し、人ではそれと逆の関係にあります。) 人と猿の歩行姿勢を比べると見えてくるものがありますね。

参考資料 芹沢勝助 著 ツボ療法
医道の日本社 鍼灸医学事典
藤原 知(さとる) 著 運動解剖学

入退会状況と 総会員数

(8月31日現在)

(1)入会者 なし

(2)平成31年度で退会された方(敬称略)

有本時枝、竹本政博、西尾富久美、磯江良樹、本田康人、野澤実、岡田美和子、伊奈垣大幸

(3)総会員数は 63人です。

編集後記

今年の夏も暑かったですね。この夏も、肩が凝るといって来院される方の中には、带状疱疹にかかっておられる方もおられました。湿布かぶれや虫刺されと言われた方もおられました。

私は「夏、加齢、疲労、ストレス、紅斑(水疱)、片側の痛み(極めてまれに両側性発症)」このキーワードで医療機関へ行っていただきました。

皆様も暑さ疲れされないよう、ご自愛ください。